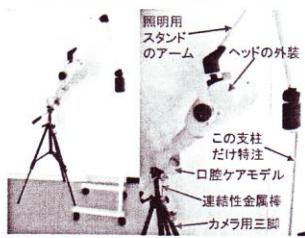


開発したシミュレータ



問題点

このシミュレータでは
画像が得られない。



適不適の評価が困難

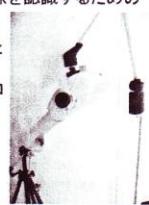
学生が評価結果に納得することも困難

目標

実施された口内法X線撮影手技に基づいて画像を再現した上で、自動的および客観的に評価できるようなシミュレータを開発する。

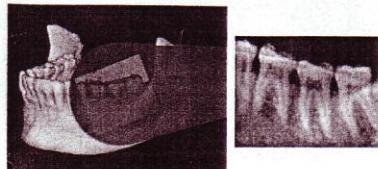
開発対象(1/3)

- ① 歯、フィルム、指示用コーン(のようなもの)の3次元的位置および角度関係を認識するための3次元位置センサユニット
- ② センサユニットで測定した物理情報より3者の位置・角度関係を算出するためのプログラム



開発対象(2/3)

- ③ 3者の位置・角度関係を基に画像を再現するプログラム



開発対象(3/3)

- ④ 3者の位置・角度関係を基に再現された画像を自動評価するプログラム
- ・目的とする歯に対して、フィルムが適切に設定されているか。
 - ・目的とする歯に対して、X線が適切な水平的および垂直的角度で入射されるか。
 - ・指示用コーンが可及的に皮膚面に近づいており、照射野の位置が適切に設定されているか。